

指定管理業務評価表

施設名	小牧山城史跡情報館		
対象年度	令和2年度	評価担当部	教育委員会事務局
指定管理者名	一般財団法人 こまき市民文化財団		
指定期間	平成31年4月25日 ~ 令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員：1人	非常勤職員：3人	合計：4人

1. 利用実績

(1) 利用者数

		常設展示室入場者数			レクチャールーム入場者数	総計
		個人	団体	計		
4月	大人	0	0	0	0	0
	小人	0	0	0		
5月	大人	0	0	0	0	0
	小人	0	0	0		
6月	大人	1,300	406	1,706	649	2,728
	小人	373	0	373		
7月	大人	979	319	1,298	522	2,126
	小人	306	0	306		
8月	大人	1,157	269	1,426	647	2,673
	小人	600	0	600		
9月	大人	2,210	618	2,828	916	4,808
	小人	811	253	1,064		
10月	大人	2,387	649	3,036	1,026	5,086
	小人	823	201	1,024		
11月	大人	3,029	824	3,853	1,423	6,367
	小人	1,091	0	1,091		
12月	大人	1,490	405	1,895	682	3,001
	小人	424	0	424		
1月	大人	974	212	1,186	453	1,975
	小人	336	0	336		
2月	大人	822	209	1,031	371	1,701
	小人	299	0	299		
3月	大人	2,618	677	3,295	1,133	5,483
	小人	1,055	0	1,055		
合計	大人	16,966	4,588	21,554	7,822	35,948
	小人	6,118	454	6,572		
年計	計	23,084	5,042	28,126	7,822	35,948
	前年度計	34,555	3,607	38,162	4,258	42,420
前年比		△33.1%	39.8%	△26.2%	83.7%	△15.2%

(2) 増減要因

小牧山城史跡情報館は令和2年度に35,948人来場し、前年度より6,472人減少しました。大きな要因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から5月31日までと令和3年1月18日から2月21日まで閉館したことにより、開館日数が前年度より38日減少したことです。

また、前年度は、開館記念に伴う平成31年4月25日から5月6日までの無料開放及び市民まつりや即位礼正殿の儀などに合わせた無料開放が15日間あり、この間の利用人数が13,054人であったことを考えると、小牧山を会場としたイベントの中止も大きく影響しました。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和2年10月10日～10月25日	回答数	51名
利用者の主な意見	市外からの利用者は、64%を占めている。職員の対応については、非常に良かった・やや良かったとの回答が98%である。施設や設備については、98%が非常に快適であった・やや快適であったと回答している。意見として、「この素晴らしさをもっとPRしてほしい」「何度も来たい」「非常に分かりやすかった」との声があった。		
具体的な対応状況	引き続き親切で丁寧な対応を心がける。 今後も、安心安全な施設づくりと展示内容や事業企画に工夫をし、多くの方にリピーターになっていただけるように努める。		

3. 収支の実績

(単位：千円)

		元年度 (前年決算額)	2年度 (現年決算額)	3年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	33,423	34,261	45,728	
	事業収入	0	0	0	
	合計	33,423	34,261	45,728	
支 出	人件費	15,883	16,731	22,614	
	需用費	4,014	4,275	6,263	消耗品費、燃料費等
	役務費	228	300	318	通信運搬費等
	委託料	6,595	7,246	8,807	企画展示業務委託料
	使用料及び賃借料	466	498	386	モップ及びマット借上料等
	原材料費	18	16	70	
	負担金及び補助金	0	0	0	
	報償費	569	258	745	歴史ボランティア等謝礼
	事務局費按分	5,650	4,937	6,525	
	合計	33,423	34,261	45,728	

4. 評価

項目	市の評価
運營業務	・法令等の遵守、報告書等の提出、個人情報取扱は適切に実施されている。鍵の保管方法などについて、引き続き、適切に扱うこと。
維持管理業務	・施設・設備の点検・保守は確実に行われている。
自主事業	・企画展やワークショップの開催により、利用者が増加している。引き続き、自主事業の実施に努めること。
サービスの質	・利用者アンケート調査の中で、職員の対応については、98%の利用者が非常に良かった・やや良かったと回答している。利用者がより快適に施設を利用できるよう考慮して、日々の業務にあたること。
収支状況 及び 経費節減	・引き続き、経費削減を意識し、施設管理にあたること。
その他 (緊急時の 対応等)	・引き続き、不審者対応訓練・消防訓練により非常時、緊急時の適切な対応の強化をすること。